

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は14ページをご覧ください。

緑風会 平畑 武 議員

ふるさと応援寄附金について

(質問) 応援寄附金は8項目に分類して使用されているが、「市長にお任せ」の項目として、小学校の老朽化した体育館の建て替えやトイレの洋式化など、大幅改修の費用に充ててはどうか。

(答弁) 平成28年7月から「ふるさと納税推進プロジェクト」として、庁内の組織を横断する形でワーキンググループを設置し、10名程度の職員に

より拡充策を協議した。その結果、平成28年度の寄附金額は約1億6,200万円に大幅増額となった。平成29年度事業への充当は8項目の用途に分類して行うこととしており、中でも「市長にお任せ」の項目として9,101万円を充当することに決定した。屋内運動場の更新や小中学校のトイレ改修の必要性は十分認識しており、これらの課題解決や鈴鹿市総合計画2023の実現に向けて優先度を考慮し、効果的に事業に活用できるよう、予算編成過程の中で十分検討したい。

市民クラブ 市川 哲夫 議員

鈴鹿市の道路インフラについて

(質問) 鈴鹿環状線磯山バイパスの現状と今後の計画は。

(答弁) 鈴鹿環状線磯山バイパスは、三重県鈴鹿建設事務所により事業が進められている。

1期工区の、磯山四丁目国道23号から五祝町旧県道上野鈴鹿線までの延長約1.8kmは平成27年2月

に開通となり、その先線となる徳田町国道23号中勢バイパスまでの延長約1.7kmは、平成27年度から引き続き2期工区として事業に着手されている。今年度は、道路詳細設計を完了させるとともに、伊勢鉄道との交差部の詳細設計や用地買収が予定されている。

幹線道路の整備促進は本市にとって大変重要な課題であり、一日も早い開通に向け、今後も積極的に事業主体や関係機関への要望活動を行っていく。

その他の質問○東海道、石薬師・庄野宿について

緑風会 宮本 正一 議員

自動車運転免許返納について

(質問) 高齢化や道路交通法改正に伴い、運転免許自主返納者の増加が想定される。移動困難者に対する具体的な支援策が必要であると考えますが、市の対応を問う。

(答弁) 本年3月12日に改正道路交通法が施行され、認知症と判断された場合は運転免許の停止や取り消しの対象となる。平成28年中の市内

における65歳以上の免許返納手続き数は291件であったが、平成29年中には800件に達すると予測されている。本市の高齢化率は21%に達しており、高齢者を含む市民の移動手段の維持、確保を図ることは重要な課題であると認識している。現在、関係部局における支援策の研究が行われているが、今後も高齢者の増加が想定されることから、「高齢者の移動支援策」について全庁的にその方向性を検討していく。

その他の質問○交通安全対策について

公明党 藤浪 清司 議員

ユニバーサルデザインの推進について

(質問) 現在改修中の市民会館、今後改修予定のAGF鈴鹿体育館について、誰もが安心して利用できるユニバーサルデザイン化への取り組みを尋ねる。また、現在の緊急避難警報では聴覚障がい者には分かりにくいので、対策を尋ねる。

(答弁) 市民会館は、玄関入口を自動ドアに変更し、エレベーターを設置する。また、入口からロビー案内板までの床に点字ブロックを置き、

歩道から事務所入口と舞台上がる南側通路にスロープを設置する。そして、オストメイト対応多目的トイレを設置し、授乳室を増設する。

AGF鈴鹿体育館にもエレベーターを設置し、観客席に車いす利用者用スペースとスロープを設置する。また、1階の多目的トイレは、男女別に1基ずつをオストメイト対応とする。そして、聴覚障がい者に災害発生を知らせるため、電光掲示板や液晶得点表示板で避難情報を表示する。

その他の質問○公共施設アセットマネジメントについて